

2012年3月15日

各 位

株式会社大京

大京グループ「ライオンズリビングラボ」 「イクメンが考える快適な住まい」座談会を開催

株式会社大京（本社：東京都渋谷区、社長：山口陽）の新しいカタチのモノづくりプロジェクト「ライオンズリビングラボ」では、生活者の視点でものづくりをする取り組みとして、女性の声を中心にモニタリング調査活動を行い、商品開発をしておりますが、このたび新たに時代のニーズを掘り起こし生活提案をするため、「イクメン」（＝育児を積極的に率先して行う男性）の声を聴く「イクメンが考える快適な住まい」座談会を3月5日（月）に開催しましたので、お知らせいたします。

現在、日本の6歳未満児をもつ男性の1日の家事平均時間は1時間、うち育児平均時間は約33分と、世界の先進国のなかでも最低水準*であり、まだまだ男性の参加が少ないのが現状です。一方20歳代の世帯においては、夫の家事参加が活発で、妻の家事分担満足度も高い傾向があり、当社では近い将来、家事や育児は夫婦で分担することが「あたりまえ」になる時代の到来を想定しております。このような背景から、男性が家事や育児に参加しやすい住まいの商品やサービスの開発が必要不可欠になるであろうと考え本座談会を実施することとしました。



ショールーム見学の様子



座談会の様子

今回は、大京グループの男性社員より参加者を公募。抽選により20歳代～30歳代の0歳～8歳の子どもをもつイクメン7名が参加し、大京グループのリフォーム向けショールーム「aratana」にてライオンズリビングラボのオリジナル商品を確認した後、座談会にて、家事や育児分担の現状や企画開発中の商品に対する感想、その他困っていることやこうあったら良いということについて、意見の交換をしました。中でも参加者全員が「頻繁に実施している」という「子どもとの入浴や浴室掃除」については、活発に意見が交わされました。また「子どもの安全性」や「子どもと過ごす貴重な時間をいかに一緒に楽しむか」という観点からの意見も多かったことから、今後は、これらのイクメン視点も採り入れ、家族みんなが自然に家事・育児に取り組めるような空間を創ることに取り組んでいく予定です。

*平成22年厚生労働白書より

◆ライオンズリビングラボ

<http://family-first.jp/lionsmind/labo/index.html>



Lions Living Labo
家時間プロジェクト

◆厚生労働省イクメンプロジェクトサイト

<http://ikumen-project.jp/index.html>



◆ このニュースリリースに関するお問い合わせ先 ◆

株式会社大京 広報・IR室（斉藤、丸山） TEL：03-3475-3802